

児童発達支援又は放課後等ディーサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和6年 3月 28日

事業所名：児童発達支援ルーム らばる

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		是	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			活動スペースに限りがあり、広さを必要とする活動を提供する際は別の部屋での活動や屋外での活動を取り入れている。	75%	0	0	25% 今後も活動内容や提供方法、場所を工夫しながら行って参ります。
	2 職員の適切な配置	○			利用児に1対1で対応している。職員の食事交代時の対応に工夫が必要である。	75%	0	0	25% 業務の効率化や分担、休憩の取り方等の改善に取り組んで参ります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				25%	0	0	75%
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			漏便等で汚れた場合、陰部洗浄や清拭に対応している。	100%	0	0	0 オムツ交換時には、皮膚トラブルを起こさないよう丁寧な後処理に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			ヒヤリハット等の時に振り返りを行うが、PDCAになっていない。				職員の意見を踏まえ、振り返りの際には、PDCAサイクルの手順に沿って話し合いを行います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○							
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○							職員の知識や対応力の向上に向けて、職員の研修への参加やらばる内での勉強会を行なって参ります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等ディーサービス計画の作成	○			利用開始前に、事前訪問でのアセスメントを行います。	100%	0	0	0
	2 児童発達支援計画又は放課後等ディーサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			ガイドラインの理解が不十分であるように思う	75%	0	0	25% 法改定に伴いガイドラインの変更がありますので、職員全員が理解できる機会を設け、計画・支援に反映して参ります。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等ディーサービス計画の作成	○							
適切な支援の提供(継続)	4 児童発達支援計画又は放課後等ディーサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				75%	0	0	25% 計画原案作成後の話し合いで職員間の意見交換を大切にして、広い視点での支援を立案して参ります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○							
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			季節ごとの行事に合わせた制作などをしている。	50%	0	0	50% 今後は季節ごとの制作に加え、季節を感じられる行事等を検討しております。
適切な支援の提供(継続)	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○							
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			朝礼でその日の役割分担やタイムスケジュールの確認を行っております。				
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			支援終了後に振り返りの時間が不定期になっている。				振り返りを通して、自分たちの支援を改善していく必要性を感じている。そのため、職員の意見を踏まえて、安定して振り返りの時間が取れるよう検討して参ります。
関係機関との連携	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○							
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等ディーサービス計画の見直し	○			モニタリングは行えているよう感じているが、職員間での情報共有が不十分であるように思う。				モニタリング終了時など保護者から聞き取りした情報などは職員間で適時共有を行なうようにして参ります。
	12 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○							
(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	1 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○							
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○			連絡体制は利用児毎にバラツキがあるため、今後整えていく必要がある。				嘱託医の定期巡回は安定して行えている。職員の意見を踏まえ、利用児毎の連絡体制や緊急時対応の整理及び管理を徹底します。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		是	どちらともいえない	否	工夫した点、改善点	是	どちらともいえない	否	
児童発達支援機関との連携(継続)	4 児童発達支援事業所及び放課後等ディサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○				/	/	/	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○				/	/	/	
	6 児童発達支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○				/	/	/	
	7 児童発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等ディサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する場合の提供		○			○	○	○ 100%	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○			/	/	/	
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				100%	○	○	
	2 児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				75%	○	○ 25%	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	○			ペアトレーニングはしていない。利用児の姿勢や食事介助の方法などを保護者にお伝えしている。	50% 25%	○	25%	ご家庭での困り事や不安な事などがありましたらお気軽にご相談ください。一緒に対応方法などを検討させていただきます。
保護者への説明責任・連携支援(継続)	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			送迎時に体調、その日の活動内容等をお話している。	100%	○	○	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○				100%	○	○	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		○			25%	○	○ 75%	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○				75%	○	○ 25%	些細なことでもかまいませんので、気になることや要望等がありましたらお気軽にお伝えください。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			連絡ノートを利用して利用時の様子をお伝えしている 送迎の際など対面でも伝えるようしている	75%	○	○ 25%	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			定期的ではないが行なっている	25%	○	○ 75%	法人グループでの通信を発行しておりますので、発行の際は配布いたします。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○				75%	○	○ 25%	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施		○			25%	○	○ 75%	
非常時等の対応(継続)	3 唐突を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○				/	/	/	
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画への記載	○				/	/	/	
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			利用開始前にアレルギーの有無を確認している 家庭から持参したもの以外は提供していない	/	/	/	
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○				/	/	/	